

研究課題名	紫外線殺菌ロボットによる院内感染予防効果
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科感染症科 教授 大毛宏喜
研究期間	2018年12月14日(倫理委員会承認後)～2025年3月31日
対象者	2017年1月から2024年12月の間に、広島大学病院において診療を受けた患者さんのうち、各種培養同定検査により薬剤耐性グラム陽性球菌、薬剤耐性グラム陰性桿菌、クロストリジウム・ディフィシルやノロウイルスなどの腸炎を引き起こすウイルスが検出された患者さん。
意義・目的	近年メチシリン耐性黄色ブドウ球菌やカルバペネム耐性腸内細菌感染症などの薬剤耐性菌やクロストリジウム・ディフィシルによる院内感染だけでなく、院内伝播も問題となっています。通常、医療機関における環境表面の殺菌は、清掃スタッフにより手で行われていますが、拭き残しの発生や薬剤耐性菌への効果が薄いことが課題とされています。そこで我々は、キセノンによる発光を利用し紫外線を病室、手術室、器材庫などの環境表面(ドアノブや壁など)にパルス照射する紫外線殺菌ロボットを用いて環境の紫外線殺菌を行う研究を計画しました。通常の清掃業務後に紫外線殺菌を加えることでの発症率低下に寄与するかを検討します。
方法	本研究は診療録(カルテ)情報を転記し、研究期間における院内感染症の発生率を評価します。 カルテから転記する内容は、年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服歴、飲酒・喫煙歴、血液検査、各種培養同定検査、薬剤感受性検査、画像所見(CT, MRI, PET-CT)、使用抗生剤、併用治療法、予後です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 感染症科 教授 大毛宏喜
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-1613 研究責任者: 広島大学病院 感染症科 教授 大毛宏喜 研究担当者: 広島大学病院 感染症科 助教 北川浩樹

研究機関: 広島大学